

学校自慢

総野小学校の「人たち」を誇る

勝浦市立総野小学校校長 たきぐち たかし 滝口 敬史



1 はじめに

本校は、勝浦市の北部の山あいにある。毎朝元気に集う子供たちと教職員、支えてくださる方々を紹介させていただく。

2 教育活動の中で

(1)互いに認め合う子供たち

社会科見学の訪問先等から、「総野の子供たちは、よく質問するね」「質問に重ねて次の質問が出せるね」と言われることが多い。これは、日々の積み重ねによる。

- ①朝の会や授業で、発言に対して子供相互、子供と職員間で傾聴を心がける。
- ②子供の運営による全校集会では、「全校感想インタビュー」で発言の機会がある。
- ③月に1回「ふれあい学習」があり、上級生が下級生に算数を教える場がある。

全校児童数が50名という小規模の集団であり、お互いに理解し認め合っている。

(2)協働する教職員

前年度に子供たちの現状について話し合いを行った。そこでは、「純朴でひたむきだが、チャレンジする気迫が足りない」と意見がまとまり、本年度からの学校教育目標「笑顔で挑戦する児童の育成」につながった。年度当初のいじめ防止集会（なかよし集会）では、教職員全員でロールプレイを演じた。短時間の準備ではあったが、協力して創り上げることができた。我々教職員の「挑戦」の一端を子供たちに見てもらえた。

学力向上に関しては、全国・学力学習状況調査の分析（学年別出題範囲と求められる思考）を7月に行った。2学期以降、担当学年

の授業実践を進め、授業の工夫の共有を行うことで相互に授業力の向上に努めている。

(3)支えてくださる方々による様々な活動

①山型遊具の補修

保護者の皆さんが、PTA奉仕作業で山型遊具の塗装をしてくださった。

→きれいになり外遊びが格段に増えた。

②よぼくろ（フクロウ）づくりの授業

低学年対象。地域のススキの穂を使いフクロウの人形を作る。保護者の方が講師。

→地域と自然を愛する心を学んだ。



よぼくろはかわいいね

③タグラグビー教室

中高学年対象。教育課程に位置付けた。地域のスポーツクラブの方々が講師。

→協力の大切さ・楽しさを学んだ。

④命の授業

高学年対象。有害鳥獣とその命に関する総合的な学習。鹿猟師の方が講師。

→生活環境の保全とあやめられた命をどのように考えるか、問いをいただいた。

3 おわりに

伸びようとする子供たち、献身的に支援をする教職員、支えてくださる方々を校長として心から誇らしいと思っている。今後も子供たちが元気に過ごせるよう努めたい。